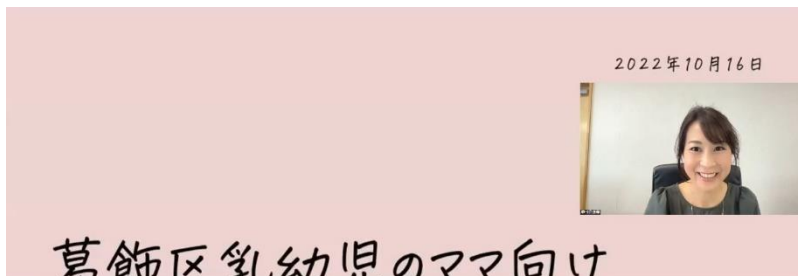


10月16日(日)に「乳幼児のママ向け講座～避難生活について考えてみよう～」をオンラインで行いました。

この講座は、子育て中のママやその配偶者等これからを担う若い世代を対象に、災害が発生した場合に「どのようにしたら大切なお子さんを守ることができるのか」をテーマに防災の基本的知識について楽しく習得することを目的としています。

講師には、フリーアナウンサーNHK あさいチ、ひよこクラブなどに「おうち防災」の専門家としても出演された奥村奈津美(おくむらなつみ)さんをお招きして、あかちゃん家族の防災について、ご自身の東日本大震災の被災経験なども踏まえ、小さい子供がいる家庭での注意点など、わかりやすく、お話をいただきました。



葛飾区乳幼児のママ向け 「赤ちゃん家族の防災講座」

防災アナウンサー 環境省アンバサダー 奥村奈津美

【概要】 赤ちゃん家族の防災講座

● 葛飾区の浸水リスクなど

自宅の浸水リスクなどを確認、避難のタイミング、情報の取得方法など知っておくことが大切です。

● 自宅を最強の避難場所にする方法

自宅地震被害にあっていない、浸水しない生活スペースが確保できる場合は、子育て家族にとって在宅避難は、環境の変化等も少なく有効であることから、日ごろから家具の固定など自宅を安全な場所しておく必要があります。

● ライフライン代替アイテムを準備しよう

トイレ、水、ガス、電気・情報源、熱中症・寒さ対策、備蓄の確保は特に重要で、例えば災害用トイレを選ぶポイント(臭い対策など保管のことも考える必要がある)、特に子育て家族は、できるだけ普段の食事を用意できるほうがよく、そのため何か食材を買うときは、ひとつではなくてふたつ買っておく。ひとつ使ったら買い足して常にストックがある状態にしておく「プラ1備蓄」などがお勧めです。

葛飾区水害ハザードマップより
荒川浸水継続時間

凡例
浸水継続時間(深さ0.5m以上)
2週間以上 2週間未満
3日以上 1週間未満
1日以上 3日未満
12時間以上 1日未満
12時間未満

※1週間以上2週間未満の区域は
避難生活には対応できません
----- 町丁目境界
● 地下道等(アンダーパス)

「自宅を最強の避難場所にする方法」
※立ち退き避難の方はNG
地震対策にもなる

ライフライン代替アイテム!
地震も考えると、最低1週間分

- ① トイレ
- ② 水
- ③ ガス
- ④ 電気・情報源
- ⑤ 熱中症・寒さ対策
- ⑥ 備蓄

【参加者からの声】

- 備蓄品の中で子供に必要なものがわかって良かったです。
- 保存食はあるが子供がいつも食べるものではないので、中身の変更をしようと思いました。
- 防災バッグを買って満足していたが、避難の仕方によって用意するものが違うことがわかりました。
- 葛飾区のハザードマップをもとに話してくれたので、自分の住んでいるところの災害リスクを感じながら受講できました。